

2026 年第 73 回春季講演会報告 大分類 1「応用物理学一般」

1.3 新技術・複合新領域

「1.3 新技術・複合新領域」では、3月15日の夕方に9件のポスター講演が行われた。3月17日午前には口頭講演9件が現地とオンラインのハイブリッドで開催された。口頭講演、ポスター講演とも活発な議論が行われていた。口頭講演では、センサに関する講演（東大、茨城高専、北大、大阪公立大）が多く、QCM とケミレジスタを用いて SnO_2 表面上での分子の吸脱着挙動と反応を切り分けて評価した講演（東大院工）、フォトニック結晶バイオセンサに関する講演（大阪公立大）が関心を集めていた。ポスター講演では、センサに加えてプロセス技術の講演もあり聴衆の関心が高かった。様々な分野の講演が可能な 1.3 の中分類では分野の「垣根」や様々な「しがらみ」がないのが特色である。学問領域の融合が盛んに行われている昨今、「新しい概念」はもちろんのこと「基本に戻ることの重要性」あるいは「早過ぎて眠っていた提案の再チャレンジ」、「簡単な手法なのに面白くて奥が深い実験」なども、この 1.3 の中分類を活用して議論していただきたい。